

我ら松田人 まつだびと 22



光明学園
相模原高等学校
ソフトボール部3年
久保寺 鮎仁さん
くほてら あゆひと

久保寺さんが所属するソフトボール部が8月1日から岡山県で開催される全国総合体育大会（インターハイ）に県代表として出場することを決めました。

お兄さんの影響で小学1年生からソフトボールを始め、中学ではコロナ禍を乗り越え、全国大会に2度出場。高校では3年連続全国大会に出場。3年間レギュラーとしてチームに貢献しました。現在はピッチャーとしてチームを引っ張り、練習では1日に200球以上投げ、115km/hの球を投げる久保寺さんにピッチャーというポジションについて伺うと、「自分次第で試合の勝敗が決まるポジションで、色んな変化球が投げられるようになって楽しい。1番バッターとしても絶対に塁に出て流れをつくりたい。」と語ってくれました。

中学時代はコロナ禍で練習も試合もともにできず悔しい思いをし、高校では「もつと頑張りたい、県内の高校でプレーしたい」という強い意思があり光明学園に入学を決意。入学当初から「見てくれる人にソフトボールの面白さを伝えたい、広めたい」と目標を掲げ、取材をした広報担当Tは、短いやりとりの中でも久保寺さんの言動は、目標を達成できるチカラがあると感じました。

3年生となった今は試合に勝つだけでなく、後輩が打って喜んでいる姿、後輩ががんばっている姿を見るだけで、これまでがんばってよかったなと嬉しくなるそうです。また、「この恵まれた環境でソフトボールを続けられたこと、支えてくれた周りの方へ感謝し、恩返しをしたい。」と久保寺さんの優しい二面をみることができました。

全国大会という舞台でも松田人久保寺さんらしい全力投球とバツティングを発揮してくれることを期待しています。光明学園相模原高等学校ソフトボール部の皆さんの活躍を応援しましょう。



松だるま 唯一無二の松田町

盛夏の候、お元気で過ごしのことと存じます。

6月14日に「松田町・寄村合併70周年記念式典」を開催しました。町民ならびに関係各位の皆さまがお越しください、式典に華を添えていただきましたこと謹んでお礼申し上げます。今後も町民の皆さまが安心して住み続けられる持続可能なまちとして発展するよう精進してまいります。

さて、大相撲、令和7年夏場所において、「大関・大の里」が優勝し、初土俵から十三場所での最速となる第75代横綱に昇進されたことは素晴らしい快挙です。

「横綱・大の里」は、100年に1人と言われるほど、体格と素質に恵まれた超逸材だが、「つまらないような稽古をいちばんやってきた。稽古はうそをつかないというのがはつきり出た」と努力の成果が結果につながったようです。

私は、「大の里」が横綱推挙時に発した「唯一無二は、努力に裏付けされた苦労人の言葉だ」と感銘を受けました。

松田町長 本山 博幸

松田町は、約10年前に消滅可能性都市とされて以来、財政的にも厳しい中、町民と議会の皆さまのご協力を賜り、努力を重ね県内「唯一無二」の事業として

①松田小学校を木造三階建て校舎へ建て替え
②寄りやまグラウンド（環境配慮型）人工芝生花

③子育て支援策「8つのゼロ（無償化）など、ほかの自治体に先駆けて取り組んだ結果、昨年、消滅可能性自治体からの脱却を果たすことができました。

今後も「子ども・子育て支援を強化」とともに、「新松田駅北口市街地再開発事業」については小田急線が開通以来100年のときを超え、神奈川県内人口1万人規模の自治体では「唯一無二」の大事業でありますので、町民皆さまの「唯一無二」の願いを叶え、カタチにするべく全力を尽くしてまいりますので引き続きご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。もうすぐ暑い熱い夏を迎えます。くれぐれもご自愛ください。